

ヘルシーインフォメーション

問い合わせ

東松島市役所 ☎82-1111 代表FAX:82-8143
(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

乳幼児健康診査・健康相談のお知らせ 場所 矢本保健相談センター 問 健康推進課子ども健康係 ☎内線3102・3108

	乳幼児健康診査〈診察開始:13時30分～、受付時間は健診により異なります〉								妊産婦・子どもの健康相談 (午前開催)※要予約
	4か月児		1歳6か月児		2歳児歯科		3歳児		
	日程	生まれ月	日程	生まれ月	日程	生まれ月	日程	生まれ月	
12月	19日(金)	令和7年8月	18日(木)	令和6年5月	2歳児歯科健診は奇数月のみ実施 次回、1月21日(水)		22日(月)	令和4年7月	17日(水)

対象者には、通知しています。通知が届いていない方・転入された方などは、下記まで連絡ください。3歳児は、健診時間の短縮のために健診票の事前返送に協力ください。4か月児と1歳6か月児、2歳児歯科の健診票は、通知(ハガキ)に記載した二次元コードから期日までに回答してください。
※妊産婦・子ども健康相談は予約が必要となりますので、子育て支援アプリまたは電話で予約ください。

妊娠・出産・子育てに関すること

子育て支援アプリ(すくすくアプリひがマーチ)

妊娠中のアンケートの回答や面談の予約等に使用、妊娠・出産・子育てに関する情報を随時発信しています。

母子健康手帳交付

交付には予約が必要です。予約は子育て支援アプリもしくは電話で予約してください。

子育て支援アプリ
ダウンロード

イト・イ～ナギフト(旧:出産子育て応援給付金)

令和7年4月1日から対象者を拡大して対応しています。(流産・死産された方も対象になる場合があります)

※各事業の詳しい内容は、市ホームページを確認または問い合わせください。



市ホームページ

■問 健康推進課子ども健康係 ☎内線3116・3123

休日・年末年始・夜間の診療当番医のお知らせ

医療機関の都合により変更になる場合がありますので、最新情報は市ホームページをご覧ください。診療が必要な場合は電話で受け入れ可能か確認してから受診してください。



東松島市の休日担当医院および薬局

診療時間:9時～17時

日曜日・祝日の日中に急患・診療対応を行っている医療機関です。

月日	医院名	電話番号	薬局名	電話番号
12月7日(日)	森さい生医院	98-8891		
12月14日(日)	伊東胃腸科内科	82-6666	たかぎ薬局 赤井店	83-5466
12月21日(日)	神山クリニック	98-8617	東まつしま薬局	98-5077
12月28日(日)	北原ライフサポートクリニック東松島	98-5571		
12月31日(水)	鳴瀬中央医院	87-3853	アイン薬局 東松島店	86-1251
1月1日(木・祝)	真壁病院	82-7111	わかば薬局	84-2230
1月2日(金)	石巻ロイヤル病院	73-5888	たかぎ薬局 広瀬店	73-2079
1月3日(土)	仙石病院	83-2111	みっと調剤薬局	83-7806

救急電話相談

夜間や休日の急な病気やけがで、救急車を呼んだ方がよいのか迷うときや、応急処置の方法が知りたいときの相談ダイヤルです。

区分	電話番号	時間
おとな救急 電話相談	①#7119 ②022-706-7119	毎日(24時間)
子ども救急 電話相談	①#8000 ②022-212-9390	毎日(19時～翌朝8時)

※相談と助言を目的とするものです。緊急、重症と考えられる場合は、迷わず119番に電話をかけてください。
※固定電話やIP電話など②を利用いただけない場合は②の番号でかけてください。

夜間診療

急患、診療対応を行っている医療機関です。一次救急施設のため、応急処置が原則です。

診療科目	曜日・時間
内科	月～土曜日 18時～翌朝7時／日曜日、祝日 18時～翌朝6時
外科	月～土曜日 18時～翌朝7時／ 日曜日、祝日 9時～17時、18時～21時
小児科	月～金曜日 19時～22時／ 土曜日 18時～翌朝7時／日曜日、祝日 18時～翌朝6時

■問 石巻市夜間急患センター
(石巻市蛇田字西道下71 ☎94-5111)

小児科休日急患診療

日曜日・祝日の日中に子どもの急患・診療対応を行っている医療機関です。

■診療時間
9時～17時

■問 石巻市夜間急患センター
(石巻市蛇田字西道下71 ☎94-5111)

歯科休日救急診療

■診療時間 9時～17時

■問 石巻歯科医師会休日診療所
(石巻市中里三丁目10-12 ☎94-8223)

教えてドクター!みんなの健康相談室 vol.5

Q 昨年、がん検診で要検査となりましたが、結果は異常なしでした。今年も同じ項目で要検査となりましたが、再検査は必要でしょうか。(63歳男性)

A 東松島市にある「伊東胃腸科内科」院長の原田喜博と申します。
まず質問にお答えしますと、がん検診で要検査となった場合は必ず医療機関を受診してください。

一年という期間は癌が成長するには十分な時間です。

胃癌、大腸癌を例にとると、癌はAIであれ、人間の眼であれ、周囲との色の違い、隆起や陥凹といった形で診断されます。現在の内視鏡は数mmの癌も発見できる精度ですが、なかには非常に発見しにくい癌もあります。一年前は大丈夫でも、新たに癌が発見される可能性はあるのです。

また、近年増加中の大腸癌は、大腸ポリープから発生することが多く、ポ

リープ切除は癌の予防に有効です。検診がきっかけでポリープが発見されることも多いので、ぜひ受診ください。

驚くべきことに日本人の平均寿命は1950年には男性59歳、女性63歳でした。現在の平均寿命の伸びは、人間の細胞が進化したからではありません。癌は40年以上連続して日本人の死因第一位です。何も症状がないから大丈夫とお考えの方もいらっしゃると思いますが、癌を完治させるポイントは早期発見です。検診、検査などを全く受けていない場合は、病気を早期発見する機会を逃している可能性があります。現在は、楽に検査を行う方法もありますので安心してください。

最後に、検診は万能ではありません。胃のピロリ菌を除菌した場合や、大腸ポリープの経過観察には定期的な内視鏡検査が必要です。

不明点がある場合は、主治医や精密検査を受けた医療機関でご確認ください。

伊東胃腸科内科
原田喜博院長